

令和6年度図書館そだて会議（蒜山図書館） 議事録

日時：R6年2月8日

13時30分～15時

一般参加者：10人、図書館：5人（蒜山3人、中央2人）

1. 開会(蒜山図書館長)

2. 今年度の蒜山図書館の取り組みについて

図書館から報告

※別紙「令和5年度開催イベント」参照

意見交換

- ・アンケート結果について（※別紙参照）
- ・日本や世界の図書館の動向について
「広場系」図書館、「BOOK-Tok」、「SEED SHARE」

3. 蒜山図書館の来年度の取り組みについて

意見交換&アイデア出し

- ・公共図書館(にぎやかでいい)→学校図書館(静かにしないといけない)
このギャップをどう埋めていくか。
- ・子どもが小さいうちから図書館に連れていく、本に触れ合うという経験が大事。
- ・植物が好きなので、みつけた植物をすぐに調べたい。体験から本へ繋がられるようになっているといい。五感も一緒に育てたい。
→中央図で開催した植物の標本づくりがとてもよかった。
- ・手作りのおもちゃをつくる・遊ぶコーナーを用意し、その場でどの本に載っているか見られる(借りられる)ように導線をつくる。
- ・「一箱図書館」「SEED SHARE」すぐにでもできそう。ぜひやりたい。
→「一箱図書館」近日中に開催、そだて会議参加者から初代館長決定(石原)
→「一箱図書館」でつかう箱(棚)を作るところからできるといい。
- ・以前住んでいた奈良県生駒市ではビブリオバトルが盛んだった。自分もスタッフとしてかかわっていた。蒜山(真庭)でももっとやってほしい。
- ・たとえば図書館内にコタツを置いて、それをイベントのようにするのではなく、そこで編み物をする人が自然に集まるような日常的なものになったらおもしろいのでは。

- ・図書館のテラスをもっと有効活用したい。
- ・図書館のイスを、ソファーなどもっとゆったりしたものにしてほしい。テーブルも狭い。
→テーブルに関しては、学習室をぜひ利用してほしい。
- ・子どもを対象にするだけでなく、お年寄りや大人対象のおはなし会を開いてみたい。
(昔話や、元気のでる絵本など)
- ・閉架書庫に入って本を選びたい。
→設備やスペースの問題で、自由に立ち入ってもらうのは難しい。
→人数制限をして予約制にしてはどうか。
- ・古い全集など、一巻だけ抜けていることがときどきある。古書などを活用してそろえてほしい。
- ・以前、真庭市内の閉校になった学校の校歌をみつめる活動(校歌研)があったが、集まった校歌を YouTube で聞ける(観られる)ことをしばらく知らなかった。懐かしいので聞きたい人も多いはず。見る手順を含めもっと周知してほしい。
- ・クラフト(羊毛フェルト)でワークショップなどをやっている。イベントや講座などで協力できると
思う。
→ぜひお願いしたい。3 月中に講座を開催する方向で相談する。

4. 閉会

以上